

あ づ ち も も や ま じ だ い う じ が わ

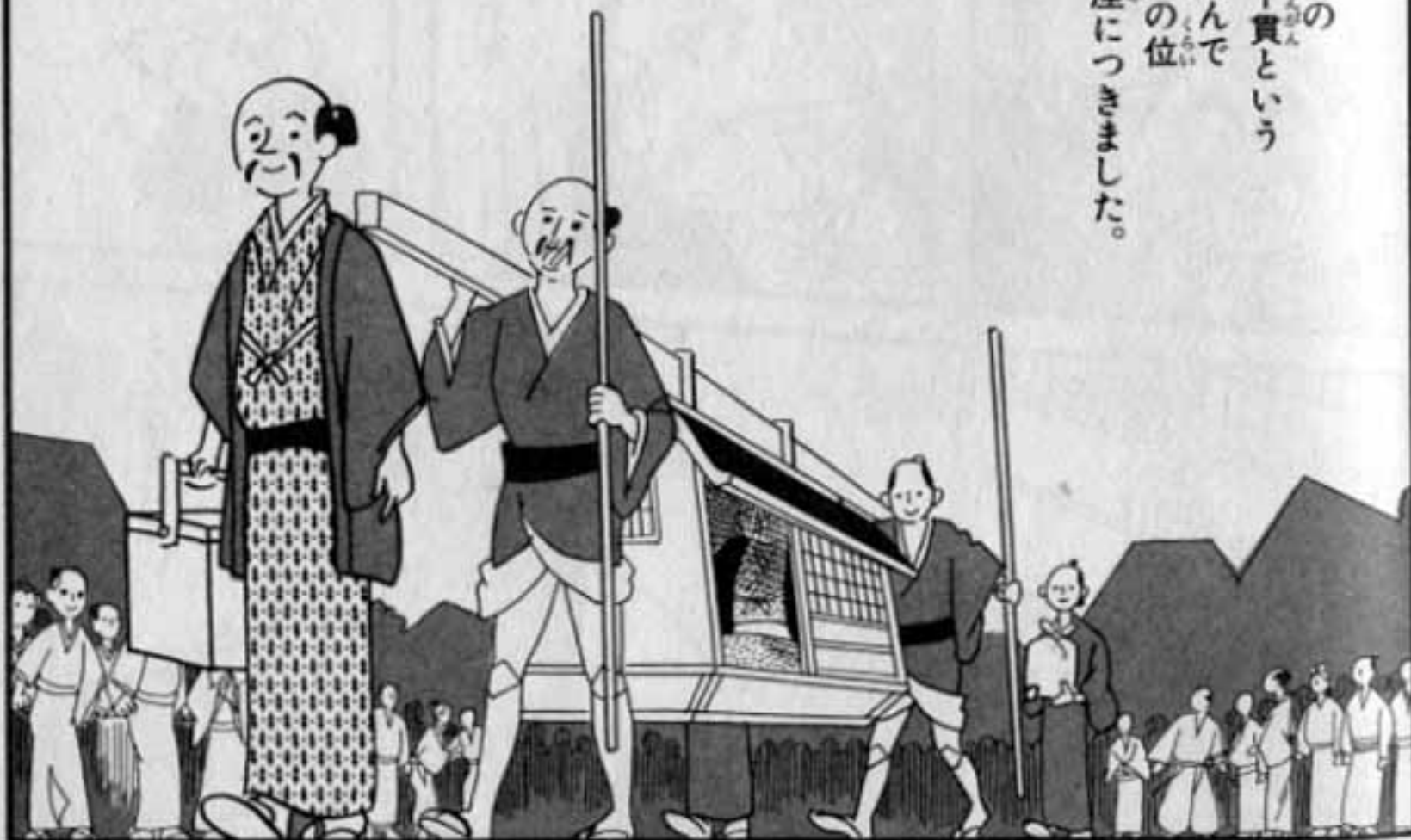
安土桃山時代の宇治

天正四年（一五七六年）
信長は安土城を
築き
翌天正五年
右大臣になり
天下は
信長の時代に
なりました。



ちようど
そのころ
座頭衆
（盲人）
たちの間に
大きな力を
持った人物が
いました。

摂津の国の
常見は千貫という
大金を積んで
盲人最高の位
検校の座につきました。









呼ぶ音は
二つあり
「ひくひく」と
「ひくひく」と
「ひくひく」と
「ひくひく」と



申し上げます
検校常見さまのことで
ぜひとも
お会いしたいと
申す者が
ございます

フム
じょうけん
常見………？
連れて参れ

うわさは
聞いているが
どのような事かな

常見め
ことによっては
こらしめて
くれよう

よし
常見を
連れて
参れ

常見は
金さえあれば
天下に怖いものが
ないと豪語
しています

けんぎょう
検校
常見とは
その方か

なかなかの
金持ちと
聞いておる

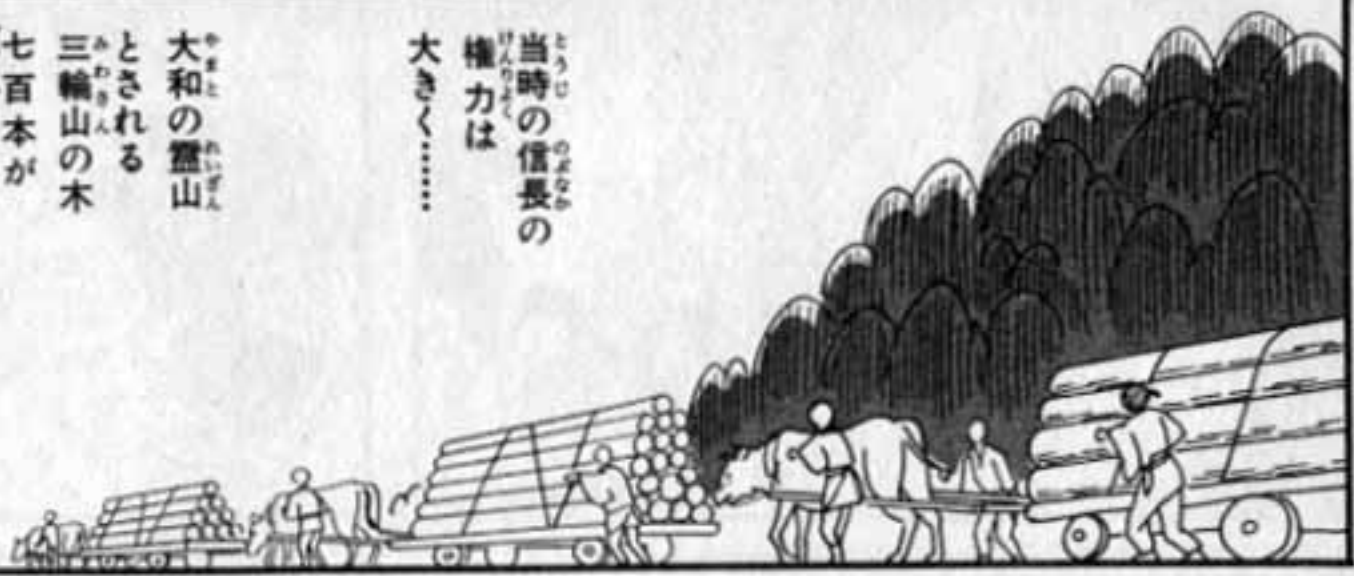
おそ
恐れ入ります



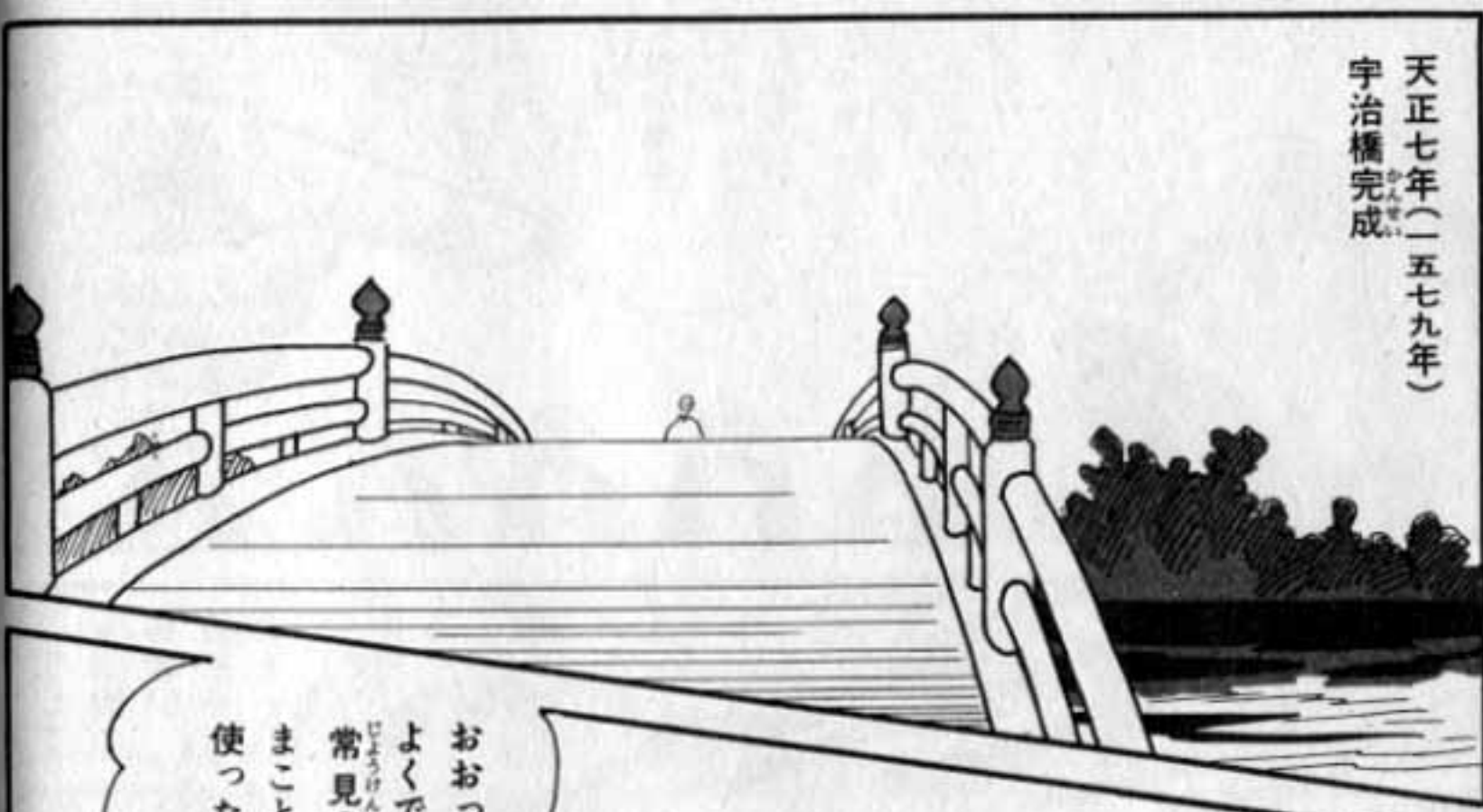


やまと
大和の靈山
とされる
三輪山の木
七百本が
伐採され
運ばれました。

とうじ
当時の信長の
権力は
大きく……

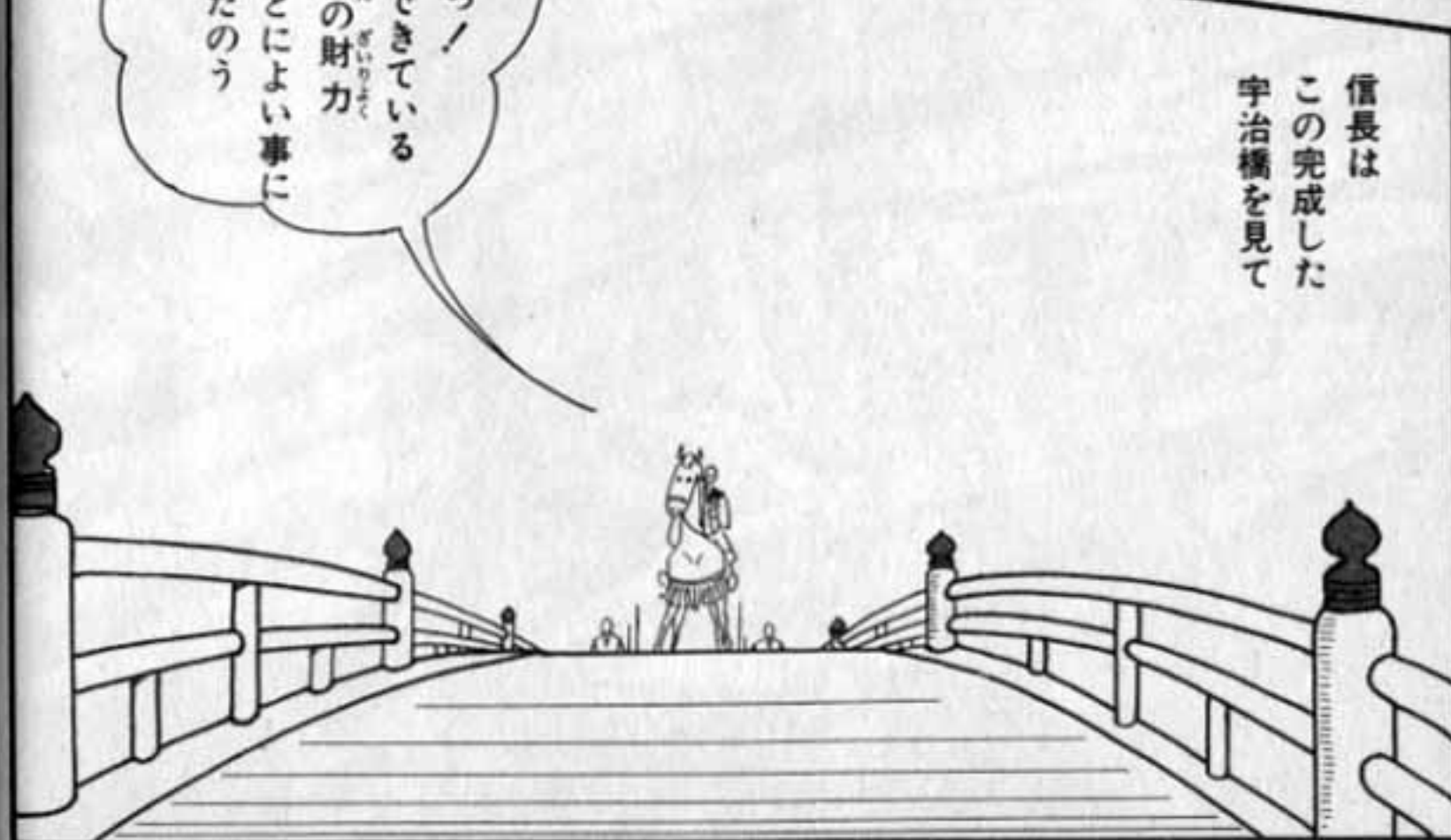


天正七年（一五七九年）
宇治橋完成



おおっ！
よくできている
常見の財力
まことによい事に
使ったのう

信長は
この完成した
宇治橋を見て



常見と信長が
宇治橋を
架けた事
なるね!



当時
信長は
宇治橋を
必要と
したんだ



りっぱな橋が
再びでき
たので
人々は
便利に
なったん
だろうね



織田信長にかわって天下統一の事業を
引きついだ人が「千生瓢箪」とサル
ニックネームで有名な豊臣秀吉です。
この人も宇治川を語るうえでたいへん
関係の深い人物です。



伏見城



まことに
良い位置に
城を作った
ものじゃ
さらに
交通の便を
よくするには、
どうかのう



宇治川を更に上手に利用し、大阪、京都奈良の中心にするには……



伏見は京都・大坂(大阪)・奈良を結ぶ交通の要所でありそこに秀吉は城を構えたのでした。

伏見城が中心となるのだ



宇治川を
つけ替え
流れが伏見に
集まるように
しよう



すべてを
伏見に
集めよう



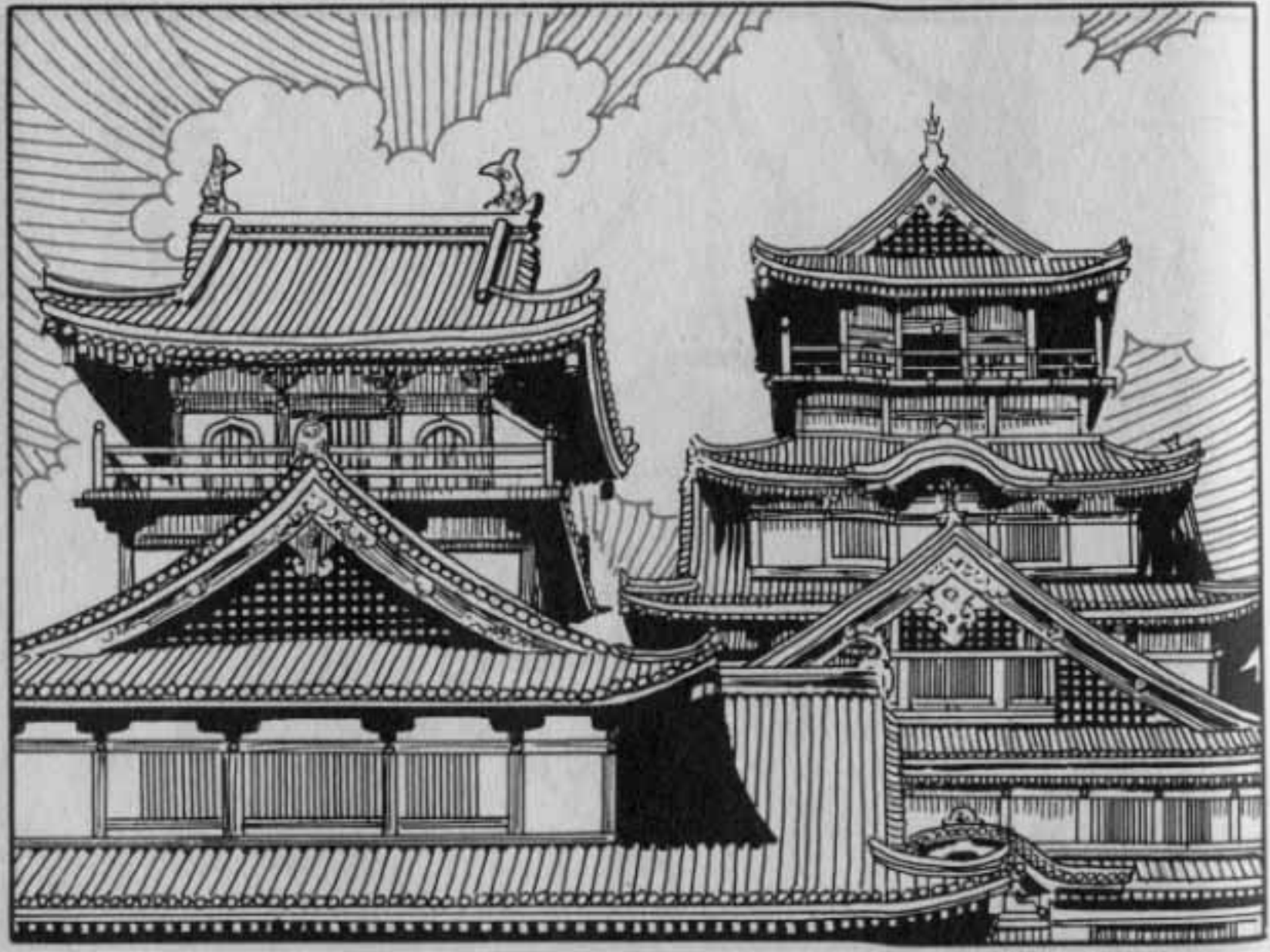
すべてを
集めよう!!





大坂(大阪)からの
船は伏見港に着く
すべての道がこの
伏見に集まるように
なる

奈良からの道は
巨椋池の堤防の
道を通って新しい
橋に至るのだ



太閤 豊臣秀吉によって築かれたという伝承から、このように呼ばれました。宇治市内、国道24号線の西側を走る近鉄京都線がほぼその地跡だと考えられます。

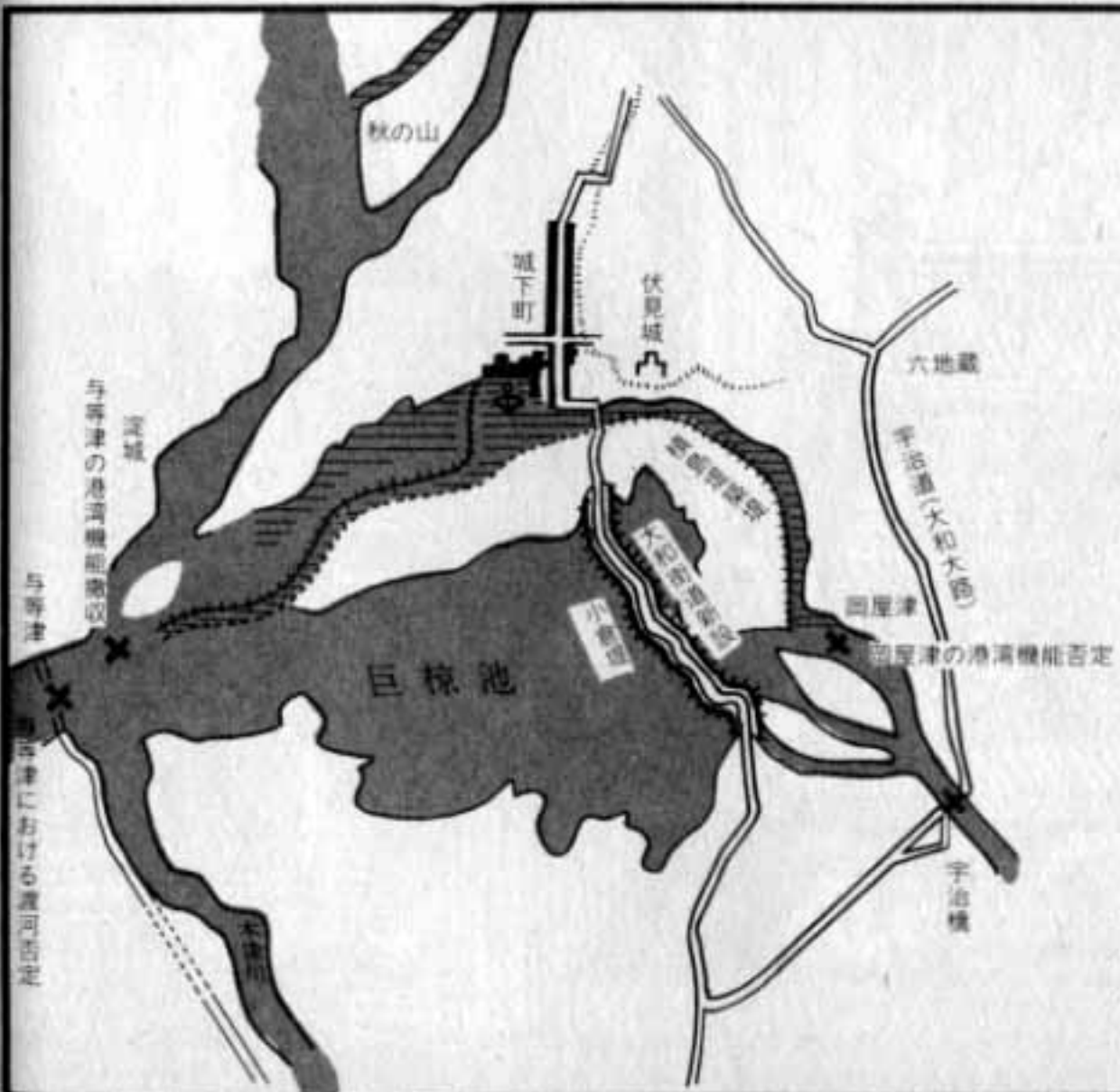
交通の要所とするには
さらに道路の整備も必要だ

そうじゃ
造りかえよう!!

今の宇治橋を
こわして
新しく伏見に
橋を架けよう

そして
川沿いに
しっかりした堤防を
築こう

巨椋池を南北に貫いて
小倉堤(太閤堤)が築かれ
大和街道として利用されました。



堤防が大和街道と
して利用できる
ようになって
周りの人たちは
便利になった
でしょうね



そうだね
でもそのために
淀津・岡屋津・
宇治津と
いった
従来の港は
利用が減って
しまったんだよ



でも 伏見は
ずいぶんと
賑わうように
なったん
じゃないの？



そうだよ
伏見は港として
また
城下町と
しても
賑わった
んだよ



城下町として
賑わう伏見



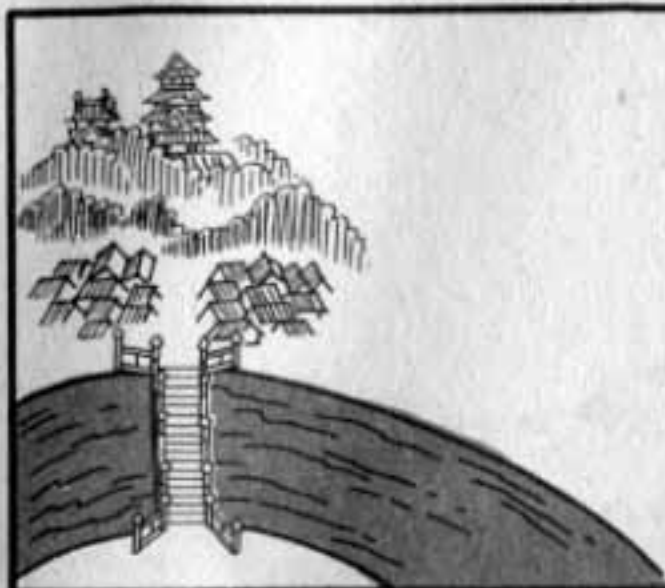
古代の淀川の主要な港



古代にも港があったのね
 そうよ大津宮、平安京、昔の都には船を使って物が運ばれていて淀川の川舟は古代から非常に重要だったのよ



伏見城の前には
 (現在の観月橋付近に)
 豊後橋が架けられました。



豊臣秀吉による宇治川改修と大和街道の開通は今でいう交通網の整備といえるでしょう。



築堤はまた治水の面より周辺農村に多くのメリットをもたらしました。長い戦乱をくぐりぬけて、人々はようやく安定した成長の時代を迎えようとしていました。



ところで
巨椽池おぐらいけって
なあに？



お母さんもよく知らない
のだけれど
今の宇治市うじしの
西部せいぶは昔
広い池
だった
のだそうよ



そう巨椽池は
その名
の通り
池だ
った
のだよ
少し巨椽池の話
しよう

